

BA8000 Pro  
LAN型PPPoE接続ガイド

BA8000 Pro

株式会社NTT-ME

## はじめに

- ・本ガイドはLAN型PPPoE接続サービスでの接続方法を説明したものです。
- ・LAN型PPPoE接続サービスとはOCN ADSLアクセス IP8/IP16「フレッツ」プラン、InfoSphere Biz ADSL8/Biz ADSL16等の複数グローバルアドレスを提供するサービスを指します。サービスの詳細については各プロバイダのサイトをご覧ください。

OCN ADSLアクセス IP8/IP16「フレッツ」プラン：  
[http://www.ocn.ne.jp/business/kotei\\_ip8-16/index.html](http://www.ocn.ne.jp/business/kotei_ip8-16/index.html)

InfoSphere Biz ADSL8/Biz ADSL16：  
<http://www.sphere.ne.jp/service/biz.html>

更新履歴	初版(修正)	2002年12月12日
------	--------	-------------

## IPアドレスの割り当て

現在プロバイダより提供されている複数グローバルIPアドレスのサービスの多くは28ビット(アドレス16個)または29ビット(アドレス8個)マスクのセグメントで提供されます。プロバイダから割り当てられるアドレスセグメントのうち、最初のアドレス(ネットワークアドレス)と最後のアドレス(ブロードキャストアドレス)はホスト等に割り当てることができませんのでご注意ください。また1つのアドレス(通常2番目)をルータに割り当てるため端末等に割り当て可能なアドレス数は

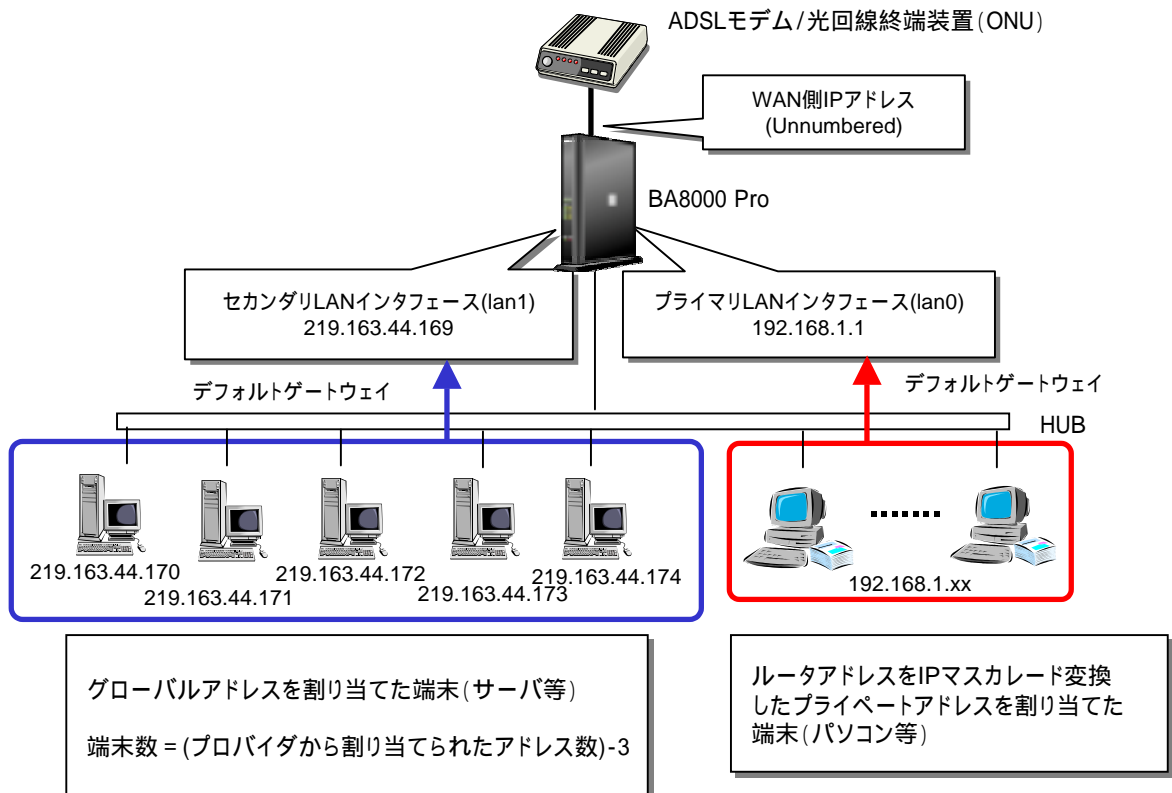
[プロバイダから提供されたアドレス数 - 3]

となります。

BA8000 ProではLAN側に2つの論理インターフェースを設定することが可能です。LAN型接続で利用する場合、プライマリLANインターフェース(lan0)をローカルアドレスの、セカンダリLANインターフェース(lan1)をグローバルアドレスのネットワークセグメントとしてそれぞれ設定します。これによりルータに割り当てたグローバルIPアドレスをNAT/IPマスカレード変換によりPC等の端末に割り当てることができます。

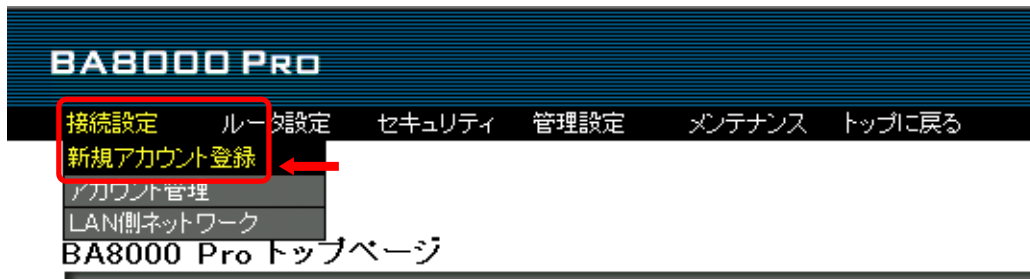
### IPアドレスの割り当て例(IPアドレスが219.163.44.168/29の場合)

- 219.163.44.168** ネットワークアドレス(端末に割り当て不可)
- 219.163.44.169** ルータアドレス(推奨)
- 219.163.44.170 ~ 219.163.44.174** 端末に割り当てるアドレス
- 219.163.44.175** ブロードキャストアドレス(端末に割り当て不可)



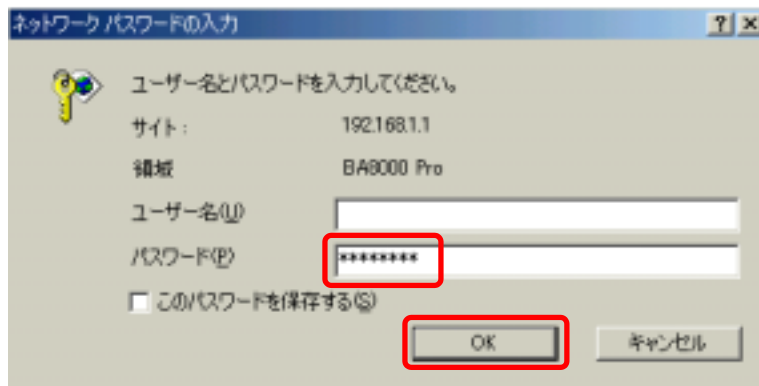
## 設定手順

1. WebブラウザのURL欄に「http://192.168.1.1/」と入力し「Enter」キーを押します。  
BA8000 Pro設定画面のトップページが表示されますので**[接続設定]**の**[新規アカウント登録]**を選択して下さい。



ユーザ名/パスワード入力画面が表示されます。パスワード欄に「password」を入力し**[OK]**ボタンをクリックします。

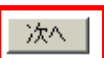
上記は工場出荷時のパスワードです。パスワードを変更している場合は設定してあるパスワードを入力してください。



2. 新規アカウント登録画面で **[接続方法]**から**[PPPoE接続]**を選択し、**[次へ]**をクリックします。

## 新規アカウント登録

ブロードバンド接続方式を選択してください。



3. [PPPoE接続設定]の各項目を設定してください。

## PPPoE接続設定

PPPoE接続アカウントを登録/修正します。[最大登録数:2アカウント]

アカウント名 [任意]	ocn
PPPoEユーザ名	ntt-me@fbfb.ocn.ne.jp
PPPoEパスワード	*****
PPPoEパスワード再入力	*****
PPPoEサービス名 [通常不要]	
PPP認証方式	接続相手にあわせる [推奨] ▼
WAN側IPアドレス設定方法	固定設定 ▼
固定WAN側IPアドレス	219 . 163 . 44 . 169
DNSサーバアドレス設定方法	固定設定 ▼
プライマリDNSサーバアドレス	203 . 139 . 160 . 74
セカンダリDNSサーバアドレス	203 . 139 . 161 . 40
MSSサイズ	1412 byte

アカウント名 : 任意のアカウント名を設定してください。

PPPoEユーザ名 : プロバイダから指定されたPPPoE接続ユーザ名を正確に入力してください。  
特にフレッツ・ADSLやBフレッツの場合は@(アットマーク) 以下も正確に入力する必要があります。  
大文字・小文字は別の文字として扱われます。

PPPoEパスワード: プロバイダから指定されたPPPoE接続パスワードを正確に入力してください。  
大文字・小文字は別の文字として扱われます。

PPPoEサービス名 : 空欄で結構です。

PPP認証方式 : 通常[接続相手にあわせる]を選択してください。

WAN側IPアドレス設定方法 : [固定設定]を選択してください。

固定WAN側IPアドレス : ルータに設定するグローバルIPアドレス(通常2番目のアドレス)を入力してください。

DNSサーバアドレス設定方法 : プロバイダからDNSアドレスを指定されている場合、またはローカルに  
DNSサーバを設置する場合は[固定設定]を選択してください。

プライマリ/セカンダリDNSアドレス : DNSサーバアドレス[固定設定]を選択にした場合、プライマリ、セカンダリ  
DNSアドレスを入力してください。

MSSサイズ : 通常1412のままで結構です。(フレッツサービスの場合MSS値は1414byte以下に設定する必要  
があります。)

続いて[DMZネットワークテーブル]の DMZネットワークサブネットマスクを投入し、最下段の[設定]をクリックし保存 & 再起動を行ってください。

## DMZネットワークテーブル



本製品LAN側に設置するDMZネットワークホストのグローバルIPアドレス範囲を設定します。

### 注意:

複数グローバルIPアドレスサービス (unnumbered接続) で、LAN側にグローバルIPアドレスホストを設置したい場合のみご利用ください。グローバル/プライベートIPアドレスを1対1変換する、マルチNATとは異なる機能です。

DMZネットワークサブネットマスク

255 . 255 . 255 . 248

4. [接続設定]メニューから[アカウント管理]を選択してください。



アカウント管理画面の[接続方式の選択]メニューから[PPPoE接続]を選択してください。

## 接続アカウント管理

使用するブロードバンド接続方式を選択してください。

接続方式の選択

PPPoE接続

続いて[PPPoE接続アカウントリスト]の各項目を設定して[設定]ボタンを押して保存・再起動してください。

## PPPoE接続アカウントリスト



PPPoE接続の状態確認/操作を行います。

状態	アカウント名	DNSアドレス	セッション	接続	アイドル タイム	操作	修/削
Disabled	ocn	203.139.160.74 203.139.161.40	プライマリ	常時	20分		修正 削除

PPP-Echo-Request送出間隔  秒

PPP-Echo-Requestリトライ回数  回

セッション : 必ずプライマリを選択してください。  
接続 : 自動、手動、常時から選択してください。  
自動----LAN側の端末からインターネットへの通信を検出した際に自動的に接続を開始します。  
手動----[接続]ボタンを押したら接続を開始します。  
常時----電源投入直後、再起動直後から自動的に接続を開始します。  
なんらかの理由によりPPPoEセッションが切断された場合も自動的に再接続します。  
(セッションキープアライブ機能)  
アイドルタイム : ここで設定した時間通信がない場合自動的に切断します。  
0に設定した場合は切断動作は行いません。  
その他の設定は通常変更しないでください。

5. 再度アカウント管理画面を開き、[PPPoE接続アカウントリスト]の状態に「Connected」が表示されていたら接続完了です。

続いてDMZネットワークの設定を行います。[修正]ボタンをクリックしてください。

## PPPoE接続アカウントリスト



PPPoE接続の状態確認/操作を行います。

状態	アカウント名	DNSアドレス	セッション	接続	アイドル タイム	操作	修/削
Connected [219.163.44.169 219.160.1.13 01-01 00:00:09]	ocn	203.139.160.74 203.139.161.40	プライマリ	常時	20分	接続 切断	修正 削除

PPP-Echo-Request送出間隔  秒

PPP-Echo-Requestリトライ回数  回

6. PPPoE接続設定画面で[DMZネットワークの追加]をクリックしてください。

## DMZネットワークテーブル



本製品LAN側に設置するDMZネットワークホストのグローバルIPアドレス範囲を設定します。

### 注意:

複数グローバルIPアドレスサービス (unnumbered接続) で、LAN側にグローバルIPアドレスホストを設置したい場合のみご利用ください。グローバル/プライベートIPアドレスを1対1変換する、マルチNATとは異なる機能です。

DMZネットワークサブネットマスク	255	255	255	248
最初のIPアドレス	最後のIPアドレス			修/削
DMZネットワークの追加				
設定	やり直し			

DMZネットワーク内の端末に設定する「最初のIPアドレス」「最後のIPアドレス」を入力し、**[設定]**ボタンを押してください。

## DMZネットワークの追加/修正

DMZネットワーク範囲を追加/修正します。

最初のIPアドレス	219	163	44	170
最後のIPアドレス	219	163	44	174
設定	戻る			

DMZネットワークの範囲は最大4つまで設定することができます。実際に使用する端末のアドレス範囲を設定して下さい。

例 219.163.44.170, 219.163.44.171, 219.163.44.174を使用する場合

DMZネットワーク	:	最初のIPアドレス	219.163.44.170
		最後のIPアドレス	219.163.44.171
DMZネットワーク	:	最初のIPアドレス	219.163.44.173
		最後のIPアドレス	219.163.44.173

ネットワークアドレス、ブロードキャストアドレスおよびルータのWAN側ポートに設定したアドレス (この場合は219.163.44.169) は絶対にDMZネットワークの範囲に含めないようにしてください。

DMZネットワークが正しく設定されていることをご確認の上[設定]をクリックして保存 & 再起動してください。

## DMZネットワークテーブル



本製品LAN側に設置するDMZネットワークホストのグローバルIPアドレス範囲を設定します。

**注意:**

複数グローバルIPアドレスサービス (unnumbered接続) で、LAN側にグローバルIPアドレスホストを設置したい場合のみご利用ください。グローバル/プライベートIPアドレスを1対1変換する、マルチNATとは異なる機能です。

DMZネットワークサブネットマスク

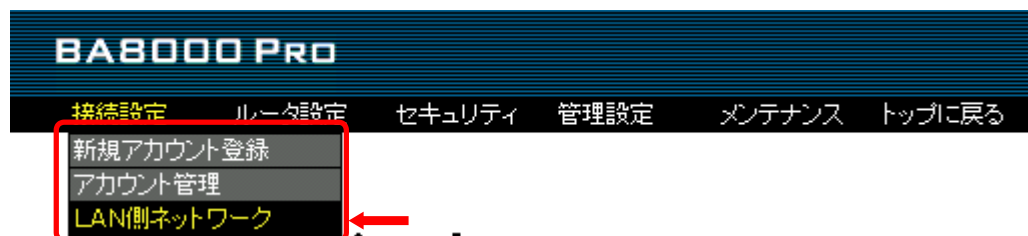
最初のIPアドレス	最後のIPアドレス	修/削
219.163.44.170	219.163.44.174	修正 削除

DMZネットワークの追加

**設定**

やり直し

7. [接続設定]メニューから[LAN側ネットワーク]を選択してください。



[セカンダリLANモード]に「DMZネットワークのゲートウェイアドレス」を選択し、[セカンダリLAN IPアドレス]に3.で[固定WAN側IPアドレス]に設定したアドレス(この場合は219.163.44.169)を投入してください。最下段の[設定]ボタンをクリックして保存 & 再起動してください。

## LAN側ネットワーク

本製品のLAN側ポートの設定を行います。

プライマリLAN IPアドレス	<input type="text" value="192"/> <input type="text" value="168"/> <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="1"/>
プライマリLANサブネットマスク	<input type="text" value="255"/> <input type="text" value="255"/> <input type="text" value="255"/> <input type="text" value="0"/>
セカンダリLANモード	DMZネットワークのゲートウェイアドレス ▼
セカンダリLAN IPアドレス	<input type="text" value="219"/> <input type="text" value="163"/> <input type="text" value="44"/> <input type="text" value="169"/>
セカンダリLANサブネットマスク	<input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/>
DHCPサーバ機能 [プライマリLANのみ]	有効 ▼ <input type="button" value="DHCPリース状況の表示"/>
LANデフォルトゲートウェイ	<input type="text" value="192"/> <input type="text" value="168"/> <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="1"/>
WINSサーバIPアドレス	<input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/>
ドメイン名	<input type="text"/>
DHCPリース時間	<input type="text" value="72"/> 時間 <input type="checkbox"/> 無期限リース
Proxy DNS機能 [DNSルーティング利用時必須]	有効 ▼
Universal Plug and Play機能	有効 ▼

[注意]

- ・lan0 lan1間の通信はデフォルトで禁止されているので、DMZネットワークに設置したグローバルIP  
端末とローカル端末間の通信を行う場合には静的フィルタでlan0 lan1間の通過フィルタルールを設  
定してください。
- ・DMZ端末に対してはProxyDNS, DHCPサーバ機能は働きません。従って、各端末にDNSアドレスを設  
定していただく必要があります。また、DMZ端末はマルチセッション機能をご利用できません。
- ・DMZ端末に対するフィルタの設定はアカウント<->lan1に対して行ってください。
- ・マルチNAT機能を利用する場合、DMZネットワークの設定は不要です。
- ・DMZネットワークのマスク長は28bit以上に設定してください。